

## ギャラリーが地域迷惑

筑豊地区で暴走族が最も多く集まる場所が、国道200号枝国北交差点で、ここには暴走族だけでなく、暴走族の見物客も多く集まります。一般に、この見物客のことは「ギャラリー」と呼ばれています。

このギャラリーは、暴走族の暴走行為を見物するために現れ、暴走族が走り出すとその暴走行為を周囲からあおる立派なものです。ギャラリーは、北九州や久留米などからも集まり、その数は200人以上にも膨れ上がることもあります。

そのギャラリー集団の騒音などで、付近の住民の方は夜も安心して眠ることができず、不安な毎日を過ごされているばかりか、平穏な営業ができず、閉店に追いやられた店舗もあります。

## 暴走族の取締り状況

暴走族に対しては、共同危険行為や信号無視など道路上の違反だけでなく、改造バイクや盗難バイクの検挙、行政機関と連携した行政命令の適用など、あらゆる手段で厳しく取り締まっています。

飯塚警察署では、昨年263件、今年は4月末までで95件の暴走族を検挙しています。また、ギャラリーについても、違法駐車車両の検挙、少年に対する補導活動を徹底して行っており、ゴールデンウィークには、中学・高校の先生方も少年補導活動に参加されました。



## 警察での取り組み

これまで、飯塚警察署では取締りだけでなく、「暴走族を走らせない環境作り」として、福岡県飯塚県土木整備事務所と協力して、ギャラリーが横断する場所の改良や暴走バイクが転回する場所の閉鎖等の道路改良などを実施してきました。



▲ 道路にポストコーンを設置し、ギャラリーの車の違法駐車を排除しています。

## 加入阻止と立ち直り支援

「友達・先輩から誘われた」

最も多い暴走族少年の加入動機です。

警察では、暴走族に興味を持ち始める中学生を中心に、加入阻止活動を推進しており、暴走族少年への離脱支援活動や、非行に走った少年を二度と非行に走らないようにする立ち直り支援に取り組んでいます。